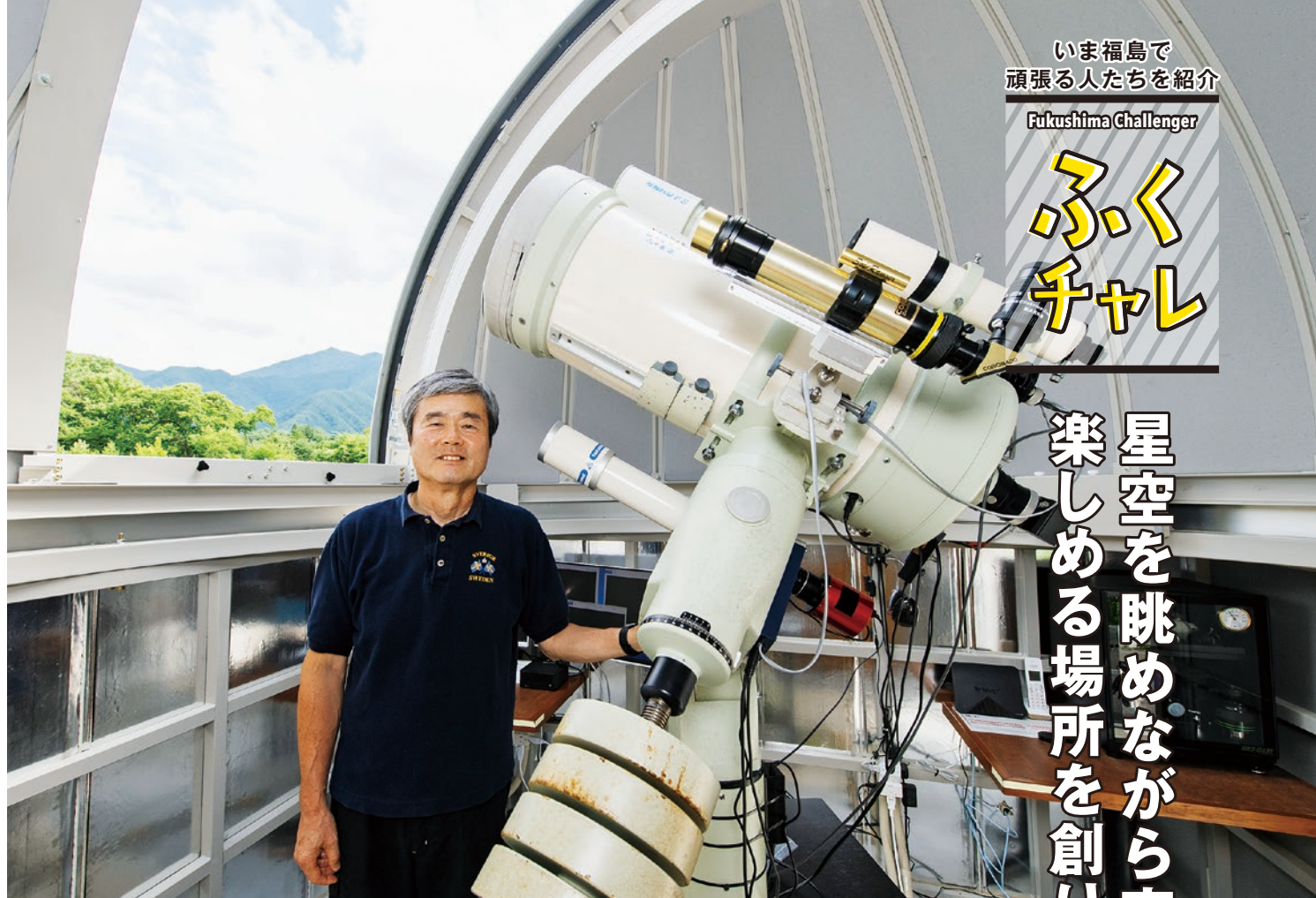


# ふく チャレ



## 星空を眺めながら交流を 楽しめる場所を創りたい

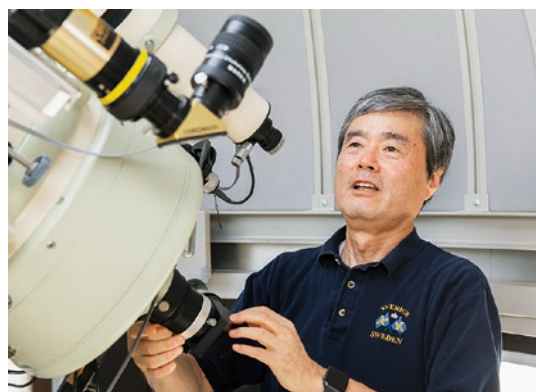
「下郷町に移住したのは偶然でしたが、山の多い南会津でも比較的空が広く、星が良く見えるのでまさに最適でした」と満足そうに語る岸さん。

中学生の頃から天体観測が趣味で、「いつか星空のきれいな場所に自分の天文台を作りたい」との思いを温め続け、定年後の第二の人生を考えた時に、かつて訪れた南会津の美しい星空が思い浮かび移住を決意。実際に住んでみてもの感想を尋ねると、「地元の人たちの人柄がとてもいいんです。適度な距離感で接してくれるから居心地がよくて」。インフラはそろっているのです、車があれば

### 下

郷町にある観音沼森林公園の近くに天文台を開いた神奈川県出身の岸さん。24年前、車で山形県に行く途中に1泊した旧南郷村（現南会津町）の宿が気に入り、毎週のように通った時期もありましたが、当時は移住までは考えていなかったとか。

定期的に開催していた天体観望会はコロナ禍で休止中ですが、少人数でできるものを続けていき、星空を眺めながら人々の交流が見上げ思いをはせています。



今年、天体望遠鏡にカメラを装着してパソコンなどのディスプレイに星空を映し出すテレビ観望を導入。「もっと気軽に天体観測を楽しんでほしい」と夢は広がります。

十字星見台  
台長

岸 正一さん



2019年に開催された移住者交流会では、参加者の皆さんが、星空を眺めながら食事やお酒を楽しみ、交流を深めました。



建物の前には野外ステージがあり、有名なフラメンコダンサーを招いたイベントには、100人以上が集まりました。